

2 全体傾向からみた課題

図15は、男性を含むすべての回答者（n=4,314）について、仕事上の不安や負担を感じている割合を職域別にグラフ化したものである。全体の傾向として、給与水準に対する回答と並んで、知識や経験が不足していると感じている割合が高かった。このことは、業務の質の向上に対する意欲の高さを表していると考えられ、様々な研修機会の提供がより良い獣医療の提供と獣医師の就業意欲の向上に有効であることが示されていると推測された。特に小動物診療従事者において、休暇の取りにくさや労働時間の長さを負担に感じている割合が高く、これらの解決が小動物診療獣医師のワーク・ライフ・バランスの改善に必要であることが明らかになった。

小動物診療施設において、雇用者でもある診療施設開設者が、職場における女性獣医師の就業支援の実感をどのように感じているかを、回答者全体の結果と比較したのが表8である。ここからは、設問に示した項目の多くで、雇用者が現状の就業支援が不十分であることを実感していることがわかった。このことから、更なる意識改革と産休・育休代替者の確保や勤務時間の多様化等の具体的支援があれば、状況は十分に改善し得るものであると考えられた。

また、図16では、代替者の確保の必要性のほか、復職を支援する研修の充実、子育てと仕事を両立しているモデルケースの紹介や相談窓口の設置、支援制度等に係る情報提供と休業中でも情報を得られる仕組みの構築、多様な勤務時間を選択できる仕組みについて整備が不十分と回答した割合が高く、これらについて対応すべきとした中間報告における提言の必要性が確認できた。

一方、中間報告では雇用者側の意識改革と休職中の代替者確保策の必要性を指摘したが、診療獣医師を雇用者と被雇用者に分けてみると、例えば休暇の取りにくさについて、雇用者である獣医師の76.3%が、労働時間の長さについては同じく66.9%が不安・負担を感じており、被雇用者である獣医師の、それぞれ56.8%、53.5%より高い値を示していた。これは、代替者の確保が容易ではなく、施設経営者である雇用者の負担がより増大していることを示していると考えられた。

図 15 職域別に見た仕事上の不安感

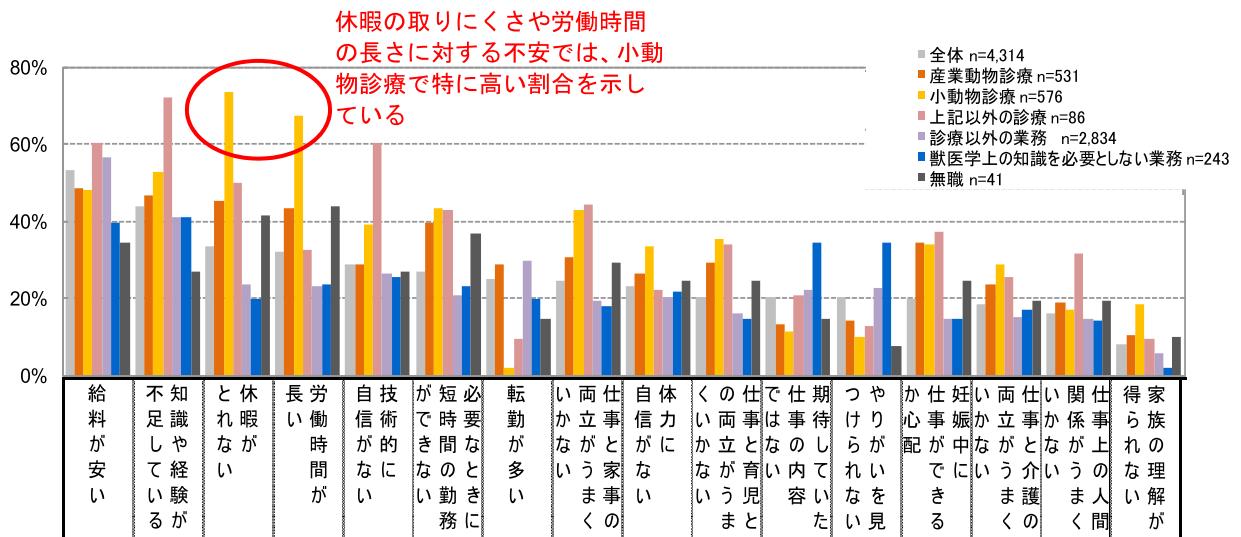


図 16 職場における女性獣医師の就業支援の実感（全体集計）

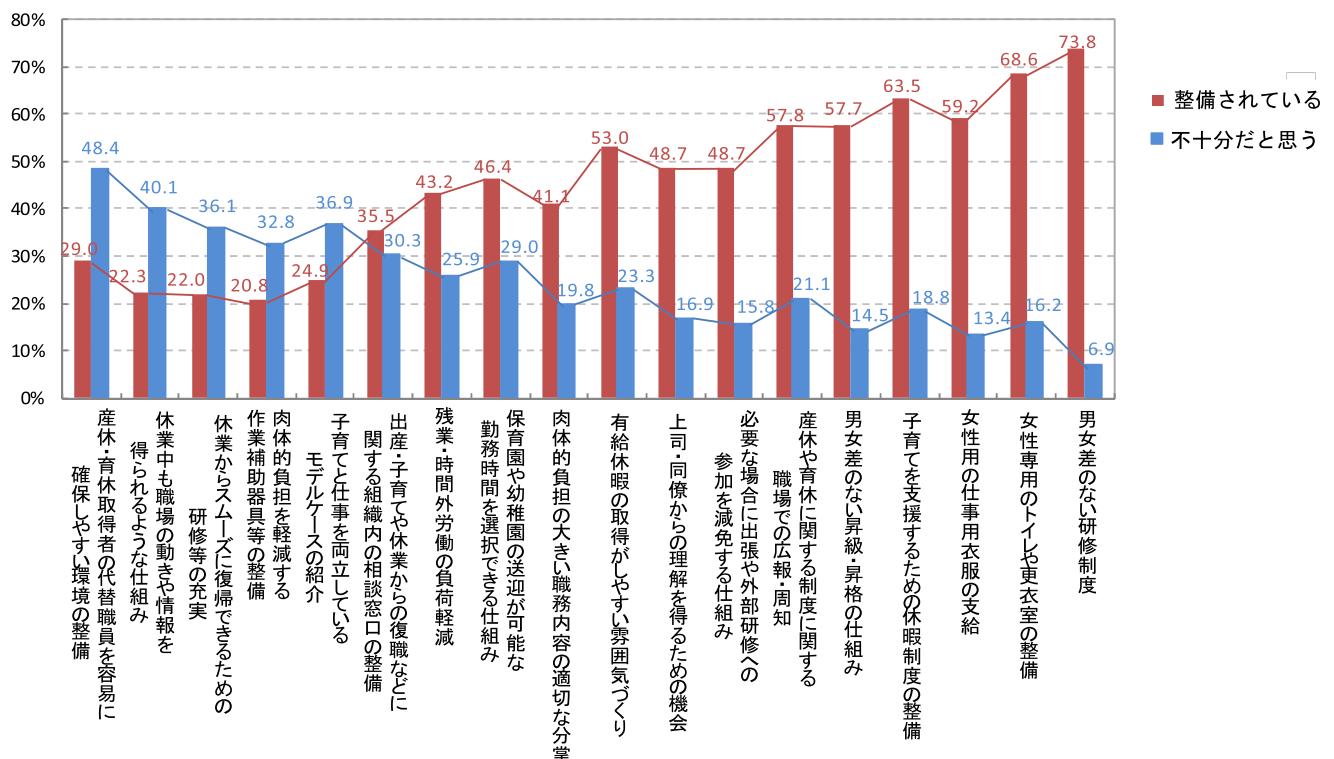


表8 職場における女性獣医師の就業支援の実感（全体と小動物診療施設開設者との比較）

※数字は上段が回答数、下段が%。

	合計	十分整備されていいと思う	ほぼ整備されていいと思う	どちらともいえない	やや不十分だと思う	不十分だと思う	無回答
Q11 職場での女性の就業支援はどの程度整備されていると思われますか。 以下の項目ごとに、お気持ちに近いものをお選びください。 ※現在仕事をしていない方は、仕事をしていた時の状況を思い出してお答えください。							
全 体	4270 1000	1068 250	1654 38.7	650 15.2	405 9.5	390 9.1	103 2.4
子育てを支援するための休暇制度(育児休業・看護休暇等)の整備	小動物診療施設開設者	364 100.0	24 6.6	49 13.5	93 25.5	75 20.6	105 28.8
全 体	4270 1000	1489 34.9	1667 39.0	720 16.9	172 4.0	119 2.8	103 2.4
男女差のない研修制度	小動物診療施設開設者	364 100.0	82 22.5	118 32.4	103 28.3	21 5.8	21 5.2
全 体	4270 1000	929 21.8	1543 36.1	1080 25.3	388 9.1	229 5.4	101 2.4
男女差のない昇級・昇格の仕組み	小動物診療施設開設者	364 100.0	72 19.8	102 28.0	125 34.3	23 6.3	24 6.6
全 体	4270 1000	1116 26.1	1411 33.0	1055 24.7	333 7.8	242 5.7	113 2.6
女性用の仕事用衣服の支給	小動物診療施設開設者	364 100.0	151 41.5	97 26.6	64 17.6	19 5.2	13 3.6
全 体	4270 1000	1391 32.6	1543 36.1	543 12.7	443 10.4	249 5.8	101 2.4
女性専用のトイレや更衣室の整備	小動物診療施設開設者	364 100.0	52 14.3	74 20.3	95 26.1	68 18.7	57 15.7
全 体	4270 1000	218 5.1	671 15.7	1870 43.8	819 19.2	575 13.5	117 2.7
肉体的負担を軽減する作業補助器具等の整備	小動物診療施設開設者	364 100.0	15 4.1	54 14.8	140 38.5	68 18.7	66 18.1
全 体	4270 1000	387 9.1	1376 32.2	1546 36.2	591 13.8	254 5.9	116 2.7
肉体的負担の大きい職務内容の適切な分掌	小動物診療施設開設者	364 100.0	22 6.0	65 17.9	152 41.8	66 18.1	35 9.6
全 体	4270 1000	597 14.0	1394 32.6	935 21.9	677 15.9	550 12.9	117 2.7
保育園や幼稚園の送迎が可能な勤務時間を選択できる仕組み	小動物診療施設開設者	364 100.0	23 6.3	55 15.1	107 29.4	74 20.3	84 23.1
全 体	4270 1000	671 15.7	1602 37.5	912 21.4	553 13.0	434 10.2	98 2.3
有給休暇の取得がしやすい雰囲気づくり	小動物診療施設開設者	364 100.0	31 8.5	79 21.7	93 25.5	67 18.4	73 20.1
全 体	4270 1000	572 13.4	1516 35.5	1394 32.6	417 9.8	253 5.9	118 2.8
必要な場合に出張や外部研修への参加を減免する仕組み	小動物診療施設開設者	364 100.0	42 11.5	90 24.7	124 34.1	46 12.6	39 10.7
全 体	4270 1000	489 11.5	1598 37.4	1358 31.8	466 10.9	250 5.9	109 2.6
上司・同僚からの理解を得るための機会	小動物診療施設開設者	364 100.0	22 6.0	87 23.9	150 41.2	55 15.1	30 8.2
全 体	4270 1000	913 21.4	1563 36.6	787 18.4	514 12.0	383 9.0	110 2.6
産休や育休に関する制度(申請や給与、復職後の見通し等)に関する職場での広報・周知	小動物診療施設開設者	364 100.0	25 6.9	48 13.2	99 27.2	82 22.5	90 24.7
全 体	4270 1000	393 9.2	851 19.9	859 20.1	875 20.5	1189 27.8	103 2.4
産休・育休取得者の代替職員を容易に確保しやすい環境の整備	小動物診療施設開設者	364 100.0	11 3.0	21 5.8	83 22.8	77 21.2	153 42.0
全 体	4270 1000	240 5.6	707 16.6	1668 39.1	855 20.0	683 16.0	117 2.7
休業からスムーズに復帰できるための研修等の充実	小動物診療施設開設者	364 100.0	12 3.3	31 8.5	117 32.1	86 23.6	99 27.2
全 体	4270 1000	276 6.5	678 15.9	1491 34.9	932 21.8	778 18.2	115 2.7
休業中も職場の動きや情報を得られるような仕組み	小動物診療施設開設者	364 100.0	16 4.4	27 7.4	128 35.2	82 22.5	90 24.7
全 体	4270 1000	469 11.0	1391 32.6	1209 28.3	683 16.0	417 9.8	101 2.4
残業・時間外労働の負荷軽減	小動物診療施設開設者	364 100.0	33 9.1	72 19.8	102 28.0	86 23.6	51 14.0
全 体	4270 1000	417 9.8	1106 25.9	1343 31.5	686 16.1	603 14.1	115 2.7
出産・子育てや休業からの復職などに関する組織内の相談窓口の整備	小動物診療施設開設者	364 100.0	14 3.8	37 10.2	106 29.1	77 21.2	109 29.9
全 体	4270 1000	269 6.3	799 18.7	1499 35.1	864 20.2	710 16.6	129 3.0
子育てと仕事を両立しているモデルケースの紹介	小動物診療施設開設者	364 100.0	14 3.8	32 8.8	116 31.9	72 19.8	106 29.1
							6.6

表中の色かけは、小動物診療施設開設者のポイントが全体よりも5%以上差がある場合には薄く、10%以上差がある場合には濃く色を付けている。